

「丹沢ヴァリエーション」 第8回 榛の木丸から主稜へ

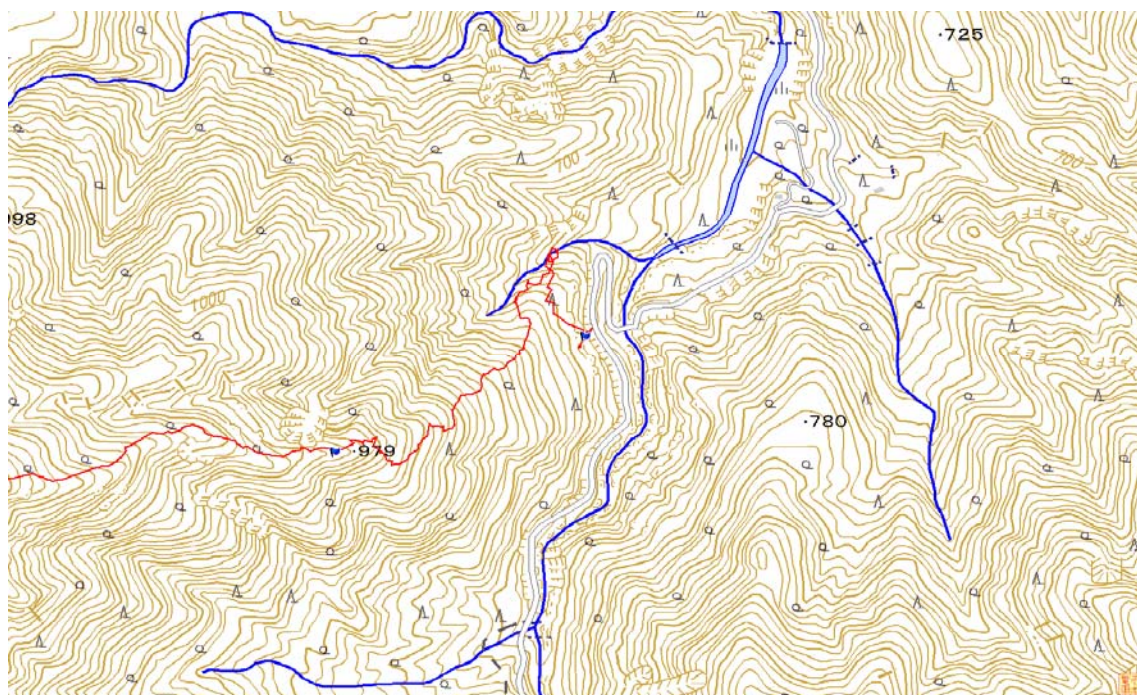
平成25年9月7日(土) 曇り、時々小雨

参加者 杉本(L)、中道

いつもより少し早く橋本駅に集合し、7:22の三ヶ木行のバスに乗り、三ヶ木で予約のタクシーで魚止め橋へ(料金6020円)。

バスの中で9000分の1地形図をもとに検討した尾根にルートを探ることにしていた。

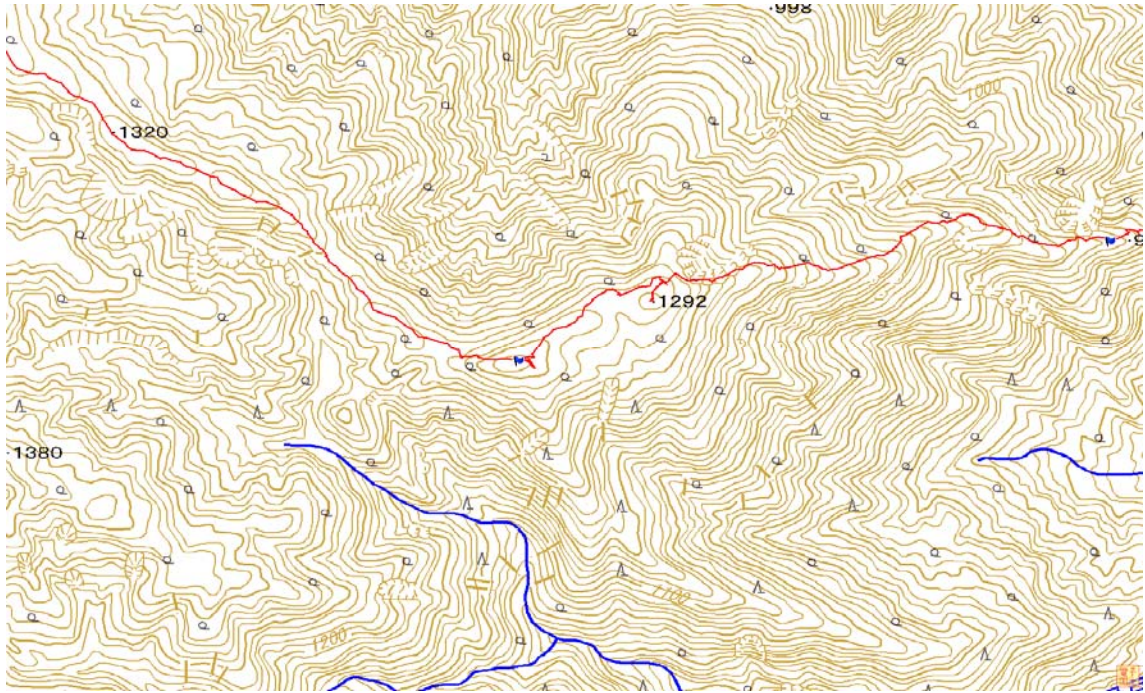
8:53(GPS標高545m、以下、同じ) 雨具(上)を着け、登山道が急曲がりする予定地点にアカペラがある。そこには比較的新しいロープが張られている。いきなりの急登である。地図の原図はいずれも4500分の1。



GPSの軌跡が少し左寄りにずれている。

9:54 △979 ヒル騒動①(後述)

途中榛の木丸かと思間違ふ馬酔木林の小ピーク△1292があるが、これは巻いて正解であった。なお、昭文社の地図ではここを榛の木丸としている。



すぐに

10:56 榎の木丸 (1312)

小さな標識が2つ架けられている。



造林小屋からの路にここで直角に合し、榛の木丸に至る。
右が造林小屋から(こちらは明瞭)、左は今回歩いてきた路



造林小屋へはこの標識に従う。

榛の木丸の降りには注意を喚起するテープが張られ、カメラも設置されている。
さすが神奈川県である。



ここからは良く踏まれている路をのんびり歩く。

笹が低くなると

12:02(1412) 主脈縦走路



ここを下山路に使う場合はこの看板を見落とさないこと。



12 : 15 (1344) 東野分岐

ここからはモノレール沿いに降れる。

ここで昼食 ヒル騒動②

12 : 46 (1223) 東野分岐

焼山へ

右下に煙突を備えた、大きな避難小屋がある。

13 : 03 (1209) 大平への道を分ける。

13 : 43 (1060) 焼山 ヒル騒動③

ここからの路は24年1月に歩いた時に比べ格段に整備されている。

神奈川県はまたまたすごい。

14 : 30 (699) 滑落注意の掲示があるが、なぜ必要か分からないくらい問題が無いところ。



14 : 58 (378) 焼山登山口と西野々の分岐を西野々へ。

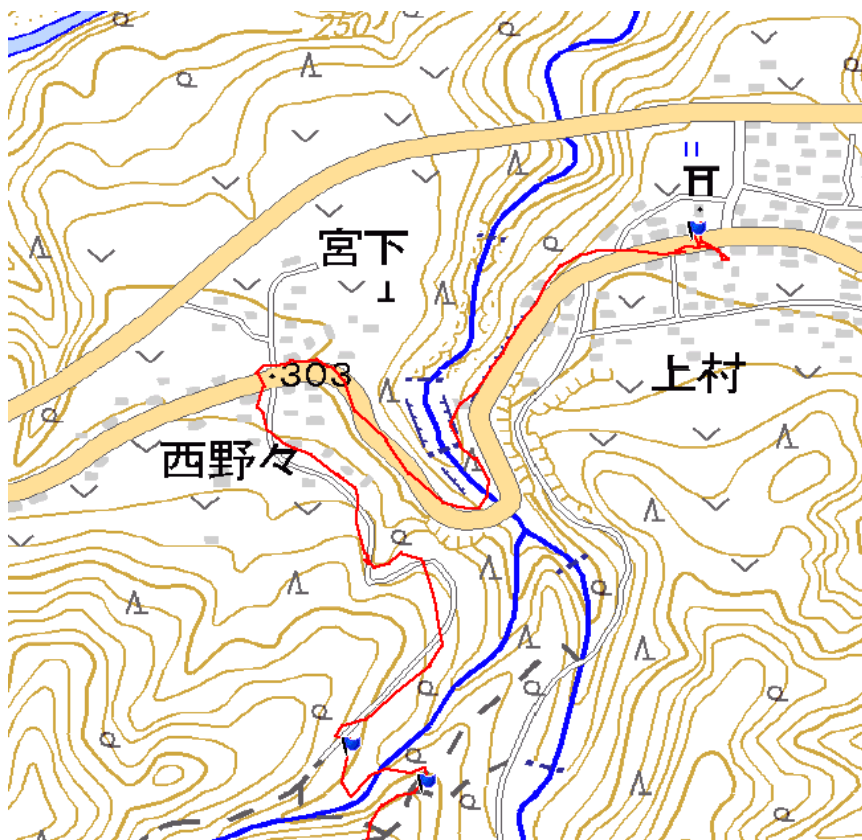
この路は初めて。よく整備されている。

15:03(374) 林道へ ヒル騒動④



間もなくバス停へ。

ビールを求めて焼山登山口バス停へ。



15:31(317) 焼山登山口バス停

神社に参拝し、前のお店でビールを求め、16:38 発のバスを待つ。 ヒル騒動⑤



16:38 予定どおりのバス。乗客は最後まで私達2人。
三ヶ木ですぐのバスで橋本へ。

このシリーズ、これまで蛭には備えたが、被害なし。
今回は怠けてまったく備えをしなかったら、初めてやられた。

ヒル騒動①

上腕部に蛭が噛みついているので気付く。
すでに足周りには約10匹。靴下に血が滲んでいる。

ヒル騒動②

主稜縦走路に出る前に鹿の食害に遭った低い笹原を通る。
食事中にこれまでと異なる小さな蛭が取り付いている。

ヒル騒動③

展望台に塩をぶら下げてある。
念のためにチェックすると、結構取り付いている。

ヒル騒動④

登山口に丁寧な警告がある。

念のためにチェックすると、ここでも結構取り付いている。

杉本さんも相当に吸われている。



バス停にも警告と塩の備え。
地元の方の有難い用意に感謝。



ビールを飲みながら総点検



これは私の被害。

杉本さんは総点検し、ついに犯人を掴み出す。
これに備えの塩をかけたところすぐにどす黒い血を大量に吐きだしたのには驚いた。

(平成 25 年 9 月 8 日 中道 記)